

# UBS中国A株ファンド (年1回決算型)

愛称：桃源郷

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2009年9月18日	
信託期間	2009年9月18日から2029年9月25日	
運用方針	「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP (コマーシャル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時 (原則として毎年9月25日、休業日の場合は翌営業日。) に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価損益を含みます。) 等の全額とします。 ②収益分配金額は、分配対象額の範囲で、委託会社が市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。	

第12期 運用報告書 (全体版)  
決算日 2021年9月27日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド (年1回決算型)」は、去る9月27日に第12期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号  
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部  
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2021. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 分 込 配 金	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
			期 騰	中 落 率		
8期 (2017年9月25日)	円 37,273	円 0	% 63.0		% 98.9	百万円 4,055
9期 (2018年9月25日)	36,082	0	△ 3.2		98.1	6,482
10期 (2019年9月25日)	43,616	0	20.9		93.7	9,978
11期 (2020年9月25日)	53,715	0	23.2		93.5	7,952
12期 (2021年9月27日)	55,772	0	3.8		94.3	23,168

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2020年 9月25日	円 53,715	% -		% 93.5
9月末	53,930	0.4		93.0
10月末	57,752	7.5		99.3
11月末	61,041	13.6		101.6
12月末	62,909	17.1		99.2
2021年 1月末	67,059	24.8		99.3
2月末	68,385	27.3		99.4
3月末	65,688	22.3		97.3
4月末	66,208	23.3		99.7
5月末	70,739	31.7		100.4
6月末	66,320	23.5		99.6
7月末	57,578	7.2		99.5
8月末	54,211	0.9		99.6
(期 末) 2021年 9月27日	55,772	3.8		94.3

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

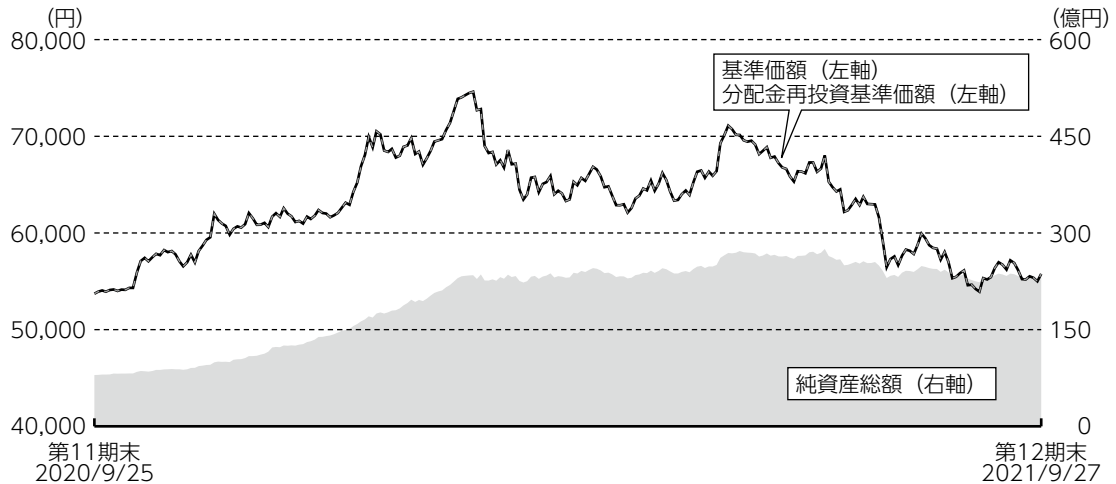
(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

(注4) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2020年9月25日～2021年9月27日)



第12期首：53,715円

第12期末：55,772円（既払分配金 0円）

騰落率： 3.8%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で2,057円値上がりしました。なお基準価額の騰落率は+3.8%となりました。

## 基準価額の主な変動要因

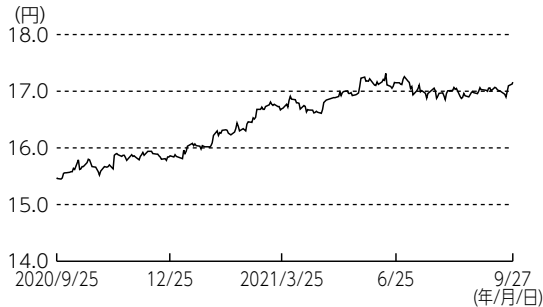
当期の基準価額は、実質組入株式の株価上昇や、為替変動（円安・人民元高）などのプラス要因が信託報酬などのマイナス要因を上回ったことにより値上がりしました。

## 投資環境について

当期の中国株式市場は大きく上昇しました。

2020年後半は、中国人民銀行（中央銀行）が金融市場の流動性を確保するべく、大規模な資金供給を実施したことや、政府による経済支援策への期待感、概ね良好な経済指標が追い風となり、中国株式市場は上昇基調で推移しました。2021年序盤は、前年末に中国政府が年金基金の株式投資枠の拡大計画を発表したことや、新型コロナウイルスのワクチン接種が複数の国で開始されたことで、世界的な景気回復期待からリスク選好姿勢が強まり、株式市場は一段高となりました。しかし2月半ば、高値警戒感から利益確定の動きが生じたことや、一部都市での不動産購入制限の強化を受けて、当局が不動産市場の過熱感を警戒しているとの見方が広がったほか、米長期金利の急上昇を嫌気した米国株式市場の下落の影響などから、中国株式市場は期の半ばにかけて大きく下落しました。期の後半、新型コロナウイルスワクチンの世界的な接種進展に伴う経済正常化への期待感や、中国人民銀行による預金準備率の引き下げなどが支援材料となった一方で、当局による教育産業への規制強化の動きや、国内大手不動産開発会社の債務問題に対する懸念の高まりが嫌気されるなど、強弱の材料が交錯して中国株式市場は一進一退の展開となりました。しかし、最終的には前期末を大きく上回る水準で期を終えました。

人民元／円レートの推移



## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90%以上を維持しました。

### UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

#### ●期中の主な動き

##### (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

素材では、コロナ後の世界的な景気回復を見据え、業界トップクラスの収益性と優れたガバナンスを評価する、MDI（ポリウレタンの一種で、自動車部品や衣類、断熱材、スマホケースなど幅広い用途で使用される）メーカーとして、世界最大手の万華化学集団（ワンファ・ケミカル・グループ）のほか、国内の印刷・梱包業界上位100社中でトップと評価される技術的優位性とブランド力を誇る高級紙パッケージメーカー、深圳市裕同包装科技（シェンチェン・ユート・パッケージング・テクノロジー）への新規投資により、同セクターウェイトを大幅に引き上げました。

また、生活必需品についても、所得水準の向上に伴う高級志向や新型コロナウイルスの感染拡大を契機に高まった健康意識、ないし生活スタイルの変化（外食から内食へのシフト）を追い風とする乳製品メーカーの内蒙古伊利実業集団（インナーモンゴリア・イリ・インダストリアル・グループ）のほか、食材（酵母とその関連製品）メーカーの安琪酵母（エンジェル・イースト）について、新規にポジションを構築することで、同じくセクターウェイトを引き上げています。

##### (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

一方、一般消費財・サービスでは、経済正常化の進展による需要回復を織り込み、2020年末にかけて株価が大きく上昇した家電大手の美的集団（ミデア・グループ）のほか、エアコンメーカーの珠海格力電器（グリー・エレクトリック・アプライアンス）について一部利益確定売りを進めるなどにより、セクターウェイトを大きく引き下げました。また、金融については、投資先企業の財務悪化や、オンライン保険プラットフォームに対する規制強化、国内不動産開発大手の信用不安などの要因が、当面の株価圧迫につながるとみられるものの、中国保険市場の構造的な拡大から中長期的に恩恵を享受する銘柄と位置付ける保険大手の中国平安保険（集団）（ピンアン・インシュアランス）については、当ファンドの純資産総額が増加する中、ポジションを維持したことからファンド内での投資比率が低下し、結果として金融セクター全体のウェイトの引き下げにつながりました。

※業種はGICS分類に準拠しています。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配を行わないこととしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第12期
	2020年9月26日~2021年9月27日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	( －%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	45,771円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 投資環境の見通し

現在の中国の経済成長モデルは、「成長の量から質重視」へと変化していると思われます。政府は国内の絶対的貧困をなくすための過去10年にわたる取り組みを経て、優先順位を経済成長と持続可能性とのバランスや、社会的平等と安全保障へと移していると考えます。2020年終盤以降、中国国内ではフィンテック、巨大IT企業、学習塾、暗号資産（仮想通貨）、炭素排出量などの分野に新たな規制が導入されたことが、これらを裏付けています。また、中国当局は、半導体、生命科学、ヘルスケアなどの国家戦略的に重要と位置づけている産業の発展を優先するとともに、「ニューエコノミー」（今後の成長がより期待できると考えられる）産業の爆発的な成長がもたらす予期せぬ弊害にも対処しようとしています。

足元の中国株式のバリュエーションは、市場の調整を受けて魅力的な水準まで低下していますが、当局による規制リスクの影響が引き続き市場の重石やボラティリティの上昇につながる予想されます。

同国には、当局による規制強化の影響や競争激化などから、短期的な逆風が見込まれる企業が一部存在していますが、一方で優れた経営陣を配し、持続的な成長を実現し得る優良企業が多数存在していると考えます。懸念材料は依然として見られるものの、当ファンドでは中国株式市場に対して、引き続き長期的な観点で楽観的な見通しを有しています。

### 当ファンドの今後の運用方針

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の投資比率を高位に維持する方針です。

### UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の今後の運用方針

当ファンドは、銘柄選択を重視しており、長期的な勝ち組となり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/9/26～2021/9/27		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	783円	1.250%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は62,651円です。
（投信会社）	(208)	(0.332)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(554)	(0.885)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 21)	(0.033)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	12	0.020	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	( 4)	(0.006)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	( 8)	(0.013)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	( 0)	(0.000)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	795	1.270	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

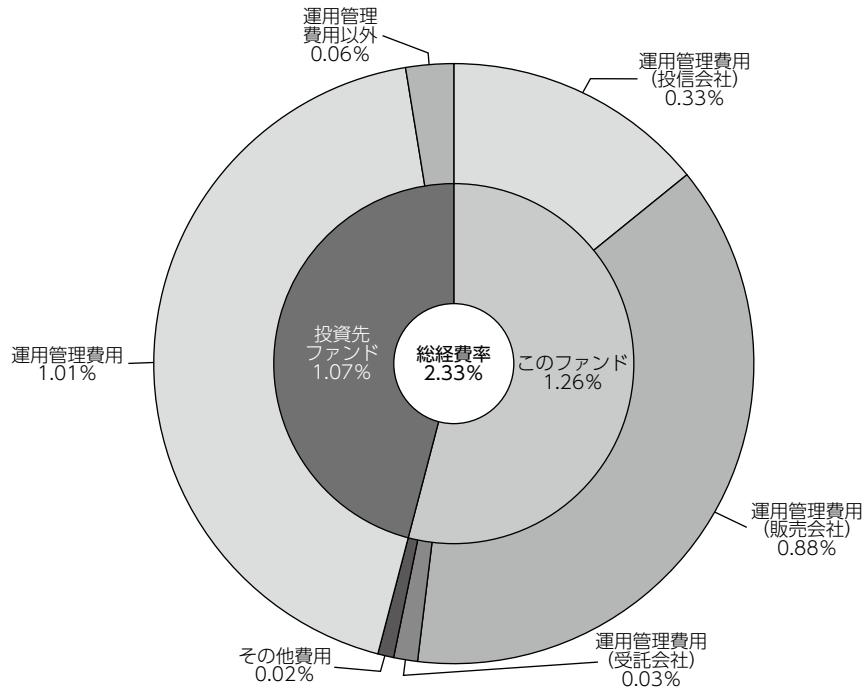
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## （参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	2.33%
①このファンドの費用の比率	1.26%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.01%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33%です。

**期中の売買及び取引の状況** (自 2020年9月26日 至 2021年9月27日)**投資信託証券**

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□	千円	□	千円
		238,244	17,888,000	22,087	1,428,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**主要な売買銘柄** (自 2020年9月26日 至 2021年9月27日)**投資信託証券**

買 付			売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	銘 柄	□ 数	金 額
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□	千円	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□	千円
	238,244	17,888,000		22,087	1,428,000

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**利害関係人等との取引状況等** (自 2020年9月26日 至 2021年9月27日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

**組入資産明細表** (2021年9月27日現在)**投資信託証券 (邦貨建)**

フ ァ ン ド 名	期 首	当 期		末
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□	□	千円	%
	30,343	30,343	30	0.0
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	120,785	336,941	21,857,388	94.3
合 計	151,128	367,284	21,857,418	94.3

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

## 投資信託財産の構成

(2021年9月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	30	0.0
投 資 証 券	21,857,388	93.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,487,403	6.4
投 資 信 託 財 産 総 額	23,344,821	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年9月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	23,344,821,216円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	266,402,620
投資信託受益証券(評価額)	30,173
投資証券(評価額)	21,857,388,423
未 収 入 金	1,221,000,000
(B) 負 債	176,051,774
未 払 解 約 金	17,963,157
未 払 信 託 報 酬	155,706,125
未 払 利 息	751
そ の 他 未 払 費 用	2,381,741
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	23,168,769,442
元 本	4,154,194,545
次 期 繰 越 損 益 金	19,014,574,897
(D) 受 益 権 総 口 数	4,154,194,545口
1万口当たり基準価額(C/D)	55,772円

〈注記事項〉

期首元本額	1,480,408,359円
期中追加設定元本額	3,557,733,629円
期中一部解約元本額	883,947,443円
1口当たり純資産額	5.5772円

## 損益の状況

(自2020年9月26日 至2021年9月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 389,776円
支 払 利 息	△ 389,776
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,262,280,925
売 買 損 益	96,153,586
売 買 損 益	△ 2,358,434,511
(C) 信 託 報 酬 等	△ 253,496,471
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 2,516,167,172
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,541,275,411
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,989,466,658
(配 当 等 相 当 額)	( 13,952,413,460)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 6,037,053,198)
(G) 計 (D+E+F)	19,014,574,897
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	19,014,574,897
追 加 信 託 差 損 益 金	19,989,466,658
(配 当 等 相 当 額)	( 13,952,413,460)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 6,037,053,198)
分 配 準 備 積 立 金	1,541,428,745
繰 越 損 益 金	△ 2,516,320,506

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(17,473,146,152円)および分配準備積立金(1,541,428,745円)より分配対象収益は19,014,574,897円(10,000口当たり45,771円)ですが、分配を行っておりません。

## UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

## &lt;参考情報&gt;

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年1回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。

ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2021年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

## 包括利益計算書

2021年2月28日に終了する会計期間  
米ドル

<b>収益</b>	
受取利息	15,286
受取配当金	2,611,281
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	56,916,073
為替取引に係る収益（損失）	(386,537)
<b>収益合計</b>	<b>59,156,103</b>
<b>費用</b>	
運用管理報酬	1,332,522
保管事務費用	120,069
監査報酬	33,980
役員報酬	12,994
専門家費用	34,427
取引費用	530,045
その他営業費用	109,299
<b>営業費用合計</b>	<b>2,173,336</b>
<b>税引前営業利益（損失）</b>	<b>56,982,767</b>
配当金に係る源泉税	(263,773)
<b>税引後営業利益（損失）</b>	<b>56,718,994</b>
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	56,718,994

2021年2月28日現在の投資有価証券明細表 (未監査)

	銘柄名	数量	簿価 (米ドル)	時価 (米ドル)
株式				
中国元				
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	1,145,083	17,433,146.12	23,187,044.46
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	65,500	15,924,286.19	21,523,543.38
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	7,122,669	18,085,617.83	23,573,167.71
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	566,764	2,682,496.00	5,176,327.57
	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP COMPANY LIMITED A SHARES	850,700	5,804,227.03	5,691,525.38
	HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-A SHRS ORD NPV	201,997	5,873,470.05	4,395,779.92
	JIANGSU YANGHE BREWERY JOINT STOCK COMPANY LTD A SHS ORD CNY1	299,160	9,639,927.82	8,752,513.93
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	412,157	2,074,213.40	3,260,251.19
	LUXSHARE PRECISION INDUSTRY CO LTD A-SHARES ORD CNY 1	624,378	3,101,366.53	4,494,361.77
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	385,057	4,406,062.04	5,548,158.75
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	124,782	721,462.25	685,335.20
	LUXSHARE PRECISION INDUSTRY CO LTD A-SHARES ORD CNY 1	1,130,799	9,356,160.01	8,139,652.24
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	1,026,311	9,267,461.39	9,373,428.64
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	1,651,500	20,835,960.91	21,776,280.20
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	552,377	4,375,934.42	7,959,017.21
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	345,484	756,728.05	1,143,412.99
	HUALAN BIOLOGICAL ENGINEERING INC A SHS ORD CNY1	740,147	5,188,620.12	4,901,468.84
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	206,689	2,203,562.56	2,725,351.24
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	792,652	4,887,041.55	4,353,450.92
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	23,902	346,091.49	483,997.00
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	12,490	1,985,849.55	4,104,260.41
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	1,626,726	21,316,841.22	25,634,784.33
	SHENZHEN YUTO PACKAGING TE-A ORD CNY1	1,624,690	7,226,710.82	7,778,895.01
	ANGEL YEAST CO LTD ORD CNY 1	897,549	6,698,664.36	7,419,367.90
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	556,544	18,320,584.60	24,122,650.16
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	20,116	379,526.51	871,900.93
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	31,555	396,759.85	497,259.91
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	2,553,274	16,962,298.99	20,196,950.67
	<b>中国元合計</b>		<b>216,251,071.66</b>	<b>257,770,137.86</b>
	<b>株式合計</b>		<b>216,251,071.66</b>	<b>257,770,137.86</b>
総合計			216,251,071.66	257,770,137.86

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年1回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。  
ご参考として第12期決算日（2021年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
8期（2017年1月20日）	円 10,010	円 0	% △0.1	% —	% —	百万円 40
9期（2018年1月22日）	9,997	0	△0.1	—	—	40
10期（2019年1月21日）	9,982	0	△0.2	—	—	40
11期（2020年1月20日）	9,967	0	△0.2	—	—	40
12期（2021年1月20日）	9,953	0	△0.1	—	—	15

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2020年 1月20日	円 9,967	% —	% —	% —
1月末	9,967	0.0	—	—
2月末	9,965	△0.0	—	—
3月末	9,964	△0.0	—	—
4月末	9,964	△0.0	—	—
5月末	9,962	△0.1	—	—
6月末	9,961	△0.1	—	—
7月末	9,960	△0.1	—	—
8月末	9,958	△0.1	—	—
9月末	9,957	△0.1	—	—
10月末	9,956	△0.1	—	—
11月末	9,955	△0.1	—	—
12月末	9,954	△0.1	—	—
(期 末) 2021年 1月20日	9,953	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第12期	
	2020年1月21日～2021年1月20日	
当期分配金	-円	
（対基準価額比率）	（-％）	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020/1/21～2021/1/20		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,960円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.046	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2020年1月21日 至 2021年1月20日）

	設		解	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	—	—	24,995	25,010

(注) 単位未満は切り捨て。

## 利害関係人等との取引状況等（自 2020年1月21日 至 2021年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

## 組入資産明細表

## 親投資信託残高

(2021年1月20日現在)

項目	期首	当期	期末
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	40,584	15,588	15,595

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## 投資信託財産の構成

(2021年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 15,595	% 99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	25	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	15,620	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	15,620,171円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	25,139
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	15,595,032
(B) 負 債	7,297
未 払 信 託 報 酬	6,967
そ の 他 未 払 費 用	330
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	15,612,874
元 本	15,687,365
次 期 繰 越 損 益 金	△ 74,491
(D) 受 益 権 総 口 数	15,687,365口
1口当たり基準価額(C/D)	9,953円

〈注記事項〉

期首元本額 40,790,227円  
 期中追加設定元本額 10,046円  
 期中一部解約元本額 25,112,908円  
 1口当たり純資産額 0.9953円  
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は74,491円です。

## 損益の状況

(自2020年1月21日 至2021年1月20日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 6,092円
売 買 益	15,601
売 買 損	△ 21,693
(B) 信 託 報 酬 等	△ 16,474
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 22,566
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 57,758
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,833
(配 当 等 相 当 額)	( 7,385)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,552)
(F) 計 (C+D+E)	△ 74,491
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 74,491
追 加 信 託 差 損 益 金	5,833
(配 当 等 相 当 額)	( 7,384)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,551)
分 配 準 備 積 立 金	110,578
繰 越 損 益 金	△190,902

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(7,384円)および分配準備積立金(110,578円)より分配対象収益は117,962円(10,000口当たり75円)ですが、分配を行っておりません。



## UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

## 参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第12期決算日（2021年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
8期（2017年1月20日）	円 10,044	% △0.1	% —	% —	百万円 40
9期（2018年1月22日）	10,035	△0.1	—	—	40
10期（2019年1月21日）	10,025	△0.1	—	—	40
11期（2020年1月20日）	10,014	△0.1	—	—	40
12期（2021年1月20日）	10,004	△0.1	—	—	15

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2020年 1月20日	円 10,014	% —	% —	% —
1月末	10,014	0.0	—	—
2月末	10,013	△0.0	—	—
3月末	10,012	△0.0	—	—
4月末	10,012	△0.0	—	—
5月末	10,011	△0.0	—	—
6月末	10,010	△0.0	—	—
7月末	10,009	△0.0	—	—
8月末	10,008	△0.1	—	—
9月末	10,007	△0.1	—	—
10月末	10,007	△0.1	—	—
11月末	10,006	△0.1	—	—
12月末	10,005	△0.1	—	—
(期 末) 2021年 1月20日	10,004	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

### 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

### 期中の売買及び取引の状況（自 2020年1月21日 至 2021年1月20日）

該当事項はありません。

### 主要な売買銘柄（自 2020年1月21日 至 2021年1月20日）

該当事項はありません。

### 利害関係人等との取引状況等（自 2020年1月21日 至 2021年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

### 組入資産明細表（2021年1月20日現在）

2021年1月20日現在、有価証券等の組入はありません。

## 投資信託財産の構成

(2021年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 15,595	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	15,595	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	15,595,634円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	15,595,634
(B) 負 債	44
未 払 利 息	44
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	15,595,590
元 本	15,588,797
次 期 繰 越 損 益 金	6,793
(D) 受 益 権 総 口 数	15,588,797口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	10,004円

〈注記事項〉

期首元本額	40,584,099円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	24,995,302円
1口当たり純資産額	1.0004円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	15,588,797円
------------------------------	-------------

## 損益の状況

(自2020年1月21日 至2021年1月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△37,283円
支 払 利 息	△37,283
(B) 当 期 損 益 金(A)	△37,283
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	58,774
(D) 解 約 差 損 益 金	△14,698
(E) 計 (B+C+D)	6,793
次 期 繰 越 損 益 金(E)	6,793

(注) 損益の状況の中で(D)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。